

2008年12月21日(日)

日中ジャーナリズム研究サミット①

# 租界のメディア

主催 早稲田大学政治学研究科 / 復旦大学新聞学院 (中国)

共催 早稲田大学現代政治経済研究所 / 早稲田大学政治経済

データベース推進研究所 / 20世紀メディア研究所

／中国伝媒大学広告学院

協力 (株)文生書院

会場 早稲田大学早稲田キャンパス3号館二階第一会議室

# プログラム

## ●講演会

13:00 ~ 17:30

司会進行：川崎賢子（文芸評論家）

歓迎の辞：佐藤正志（早稲田大学教授） 13:15 ~ 13:45

講演①：山本武利（早稲田大学教授） 13:45 ~ 14:15  
タイトル: 日本の謀略新聞——『大陸新報』と『東亜新報』

講演②：黄 瑚（復旦大学教授） 14:15 ~ 15:15  
タイトル: 上海「孤島」期（1937.11-1941.12）租界当局のメディア政策について

休憩：15:15 ~ 15:30

講演③：黄 旦（復旦大学教授） 15:30 ~ 16:30  
タイトル: 租界が中国新聞業に及ぼす影響について

休憩：16:30 ~ 16:45

特別講演：黄昇民（中国伝媒大学広告学院長・教授） 16:45 ~ 17:30  
タイトル：歴史資料を用いたメディア研究の可能性について